

練習問題 4

問 1

次の式の空所 A ~ C に入る語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。【地方上級・平成 2 年度】

国内純生産 = 国内総生産 - A

国民所得 = 国内純生産 - B + C

- | | | | |
|---|--------|-----|-----|
| 1 | 中間生産物 | 間接税 | 補助金 |
| 2 | 中間生産物 | 輸出 | 輸入 |
| 3 | 資本減耗引当 | 補助金 | 間接税 |
| 4 | 資本減耗引当 | 輸出 | 輸入 |
| 5 | 資本減耗引当 | 間接税 | 補助金 |

問 2

国民経済計算に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。【国税専門官・平成 11 年度】

- 国民経済計算においては、貯蓄と投資は常に等しいものと定義されているので、経済が事実上均衡状態にあることが前提にされている。
- 国内総生産とは、原則として、日本国内で生産された生産額の統計であり、国民総生産とは、国内または国外にかかわらず原則として、日本国民により生産された生産額の総計である。
- 国民所得勘定に含まれる生産活動は、帰属計算の対象を除き、原則として、市場で取引されるものに限られているので、市場で売買されない政府サービス、余暇、環境は国民経済計算に含まれない。
- 国民総生産から資本減耗を控除し、補助金を加算したものを国民純生産といい、国民純生産から資本減耗を控除したものを国民所得という。
- 名目 GNP を 100 とし、購入量をウエートとした物価指数 (GNP デフレーター) を 1.5 とした場合、実質 GNP は 150 となる。

1 と 5 は間違い。

問 3

国民経済計算に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。【国家 種・平成 9 年度】

- 1 GNPとは、一国の経済において、一定期間に市場で販売されたすべての財貨、サービスの価値額を市場価格で測った総額であり、新築マンションも中古マンションも、ともにその販売額分GNPを増加させる。
- 2 GNPとは、一国に居住する経済主体の一定期間の投資活動によって新たに加えられた財貨、サービスの価値額を市場価格で測った総額であり、株式の購入は投資にあたることから、GNPを増加させる。
- 3 GDPとは、海外からの純要素所得をGNPから控除したもので、主要先進国ではGNPよりもGDPを重視する傾向にあり、わが国もGDP中心の発表を行っている。
- 4 要素費用表示の国民所得は、分配面から見て雇用者所得と投資を合わせたものであり、国民純生産から固定資本減耗を除いても求められる。
- 5 GNPの対象は、原則として市場で取引される財貨、サービスに限られるが、例外的に持家住宅、主婦の家事労働、親からの遺産が帰属計算の対象として含まれる。

4は間違い。

問 4

次の各項目がそれぞれの大きさである時、国民所得の大きさとして妥当なものはどれか。

【地方上級・平成 11 年度・改】

最終消費支出	330	要素所得の純受け取り	20
国内総固定資本形成	90	在庫品増加	10
固定資本減耗	70	財貨・サービスの輸出	70
財貨・サービスの輸入	30	間接税 - 補助金	10

- 1 360
- 2 370
- 3 380
- 4 390
- 5 400